

「防災ハンドブックの作り方」

①岡山県教育庁保健体育課ホームページからダウンロード

防災ハンドブックは、小学生版、中・高校生版ともエクセルで作成しています。学校の実態に応じて、追加・削除等、変更して活用することができます。

 <p>岡山県 小学生のための 防災ハンドブック</p> <p>学校名 _____</p> <p>名前 _____</p> <p>住所 _____</p> <p>電話番号 _____</p> <p>学年 月 日 _____</p> <p>〒 _____</p>	<p>1. 自然災害から身を守ろう</p> <p>地震や土砂災害、浸水など、あなたから災害被害をよのめ、自然災害にそなえよう。</p> <p>(1)地震のとき</p> <p>①揺れの半にいるとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ○揺れが弱ってきたり、揺れてくるところからはなれて、ざぶとんなどで頭を守りましょう。 ○机のような机やテーブルの下にすり、机が壊れないように足のあしを踏さえましょう。 ○揺やとびらを避けて、逃げる道をつきましょう。 ○逃げるときは、あわてず、扉や窓の扉前にしたがいをしましょう。 <p>②外にいるとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ○建物のガラスや、かんばんが落ちてくるかもしれないので、ランドセルなどで頭を守り、がんばりましょう。 																				
<p>○電車やバスなどの乗り場の中では、係員や運転手さんの指示にしたがいをしましょう。</p> <p>※緊急避難時の音を聞いたときは、あわてず、身の安全を確保しましょう。</p> <p>(2)地震や土砂災害にそなえよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地震や浸水、突如のときには、地震や土砂災害にそなえて、災害避難をよく聞き、早めにひなんしましょう。 <p>(3)ひなんするとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ひなんするときは、家族や近所の人、近所などといっしょにひなんしましょう。 ○たおれている物や壊れた建物は近づかないようにしましょう。 ○揺れが弱まってきたら、ランドセルなどで頭を守りましょう。 ○まわりの安全を確認しましょう。 	<p>2. 家族でチェックしよう</p> <p>そなえはできていますか？</p> <p>ひなんする時にももてるもの(チェックしてみましょう)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>緊急連絡帳</td> <td></td> <td>リュック</td> </tr> <tr> <td></td> <td>懐中電灯</td> <td></td> <td>かんざし</td> </tr> <tr> <td></td> <td>手袋</td> <td></td> <td>マスク</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ティッシュ</td> <td></td> <td>ゴミ袋</td> </tr> <tr> <td></td> <td>きょうしつ</td> <td></td> <td>きょうしつ</td> </tr> </table> <p>※間違った準備が家族で話し合ってみましょう。</p>		緊急連絡帳		リュック		懐中電灯		かんざし		手袋		マスク		ティッシュ		ゴミ袋		きょうしつ		きょうしつ
	緊急連絡帳		リュック																		
	懐中電灯		かんざし																		
	手袋		マスク																		
	ティッシュ		ゴミ袋																		
	きょうしつ		きょうしつ																		

← ②ハンドブックの中央を ✂ に沿って切る。

↑ ③やまおり箇所でする。

④ページ順にならべて、左部分をホッチキス等で留める。

⑤学校名・名前等を記入して完成。